

うーたす!

大学生が自分たちで取材・編集して伝える“宇大”のフリーペーパー

春号

Apr.2017
No.009

特集1

宇大のこの人を Check it Out!

拡大版

地域で活躍する
宇大生!!

特集2

宇～太オフィシャルソンググランプリ

- ☀ 宇大散歩
- ☀ U*You INTERVIEW
- ☀ サークル紹介 - ウダイのサークル
- ☀ アルバイト紹介 - UDAI WORK



Mail : uu_pras@yahoo.co.jp
Twitter: [@uu_pras](https://twitter.com/uu_pras)
WEBSITE: <http://uu-pras.tumblr.com>

国立大学法人
宇都宮大学

MY UDAI MOMENT

ある日の宇大から。



国際化のなかで。

うーたすの表紙にもついに外国人が！モデルは工学部で建築学を学ぶ3年生のカボシヤさん。モロッコからの留学生だ。

宇都宮大学には国際学部があることもあって、他の地方の国立大学に比べると留学生を見かける機会がかなり多いように感じる。授業に参加している生徒の半分が留学生なんてこともあり、国際交流の場がいたるところに広がっている。

「笑わないで」と留学生に怒られたことがある。日本に来たばかりの留学生に日本食が食べたいといわれ、うどんをご馳走したときのことだ。うまく箸を使えない彼の姿が、子供のようにみえて笑ってしまった。次の日に学食で見かけた彼は、フォークを使って食事をしていた。彼を傷つけてしまったのかもと、無意識に笑ってしまった自分を恥じた。

無意識のうちに留学生を傷つけた経験はほかにもある。他愛もない会話の後に「bye」とあいさつしただけだったが、「わたしが日本人じゃないから英語で挨拶するの？」と悲しい顔を向けられた。

そんなつもりじゃないと言っても表情は晴れなかった。話をきくと、授業中や私生活の中でも"特別扱い"され、嫌だと話した。友達は簡単な日本語でしか会話してくれず、先生は自分にだけレベルを下げた宿題を出す。日本人がおもいやりだと思って無意識にしている行動は彼らの成長の場を奪っているのかもしれない。

「国際化がすすむ中で、お互いを尊重しましょう」なんて言葉をよく耳にする。でも実際、日常生活の中で、どれだけ意識できているだろうか。一度、考えてみたい。

この一面では宇大に関する写真と文章を連載しています。宇大の良いところを伝えたい方や、写真を撮ることが好きな方、わたしたちと一緒に一面を飾ってみませんか？詳しくはこちらまで uu_pras@yahoo.co.jp

オフィシャルソンググランプリ



皆さんは宇都宮大学オリジナルキャラクター「宇～太」のオフィシャルソングがあることを知っていますか？！宇都宮大学の学生さんや先生方からの公募により、今年度の学祭にて決定しました！みんなで歌詞を覚えて宇～太と一緒に歌いましょう♪

優
秀
賞

みんな大好き 宇～太♪

作者：UUMC（宇都宮大学混声合唱団）

- 1 宇～太は宇大に住む妖精
ずーっとみんなをみているよ
まっしろ！ふわふわ！もっこもこ！
ぴよこぴよこ動いてかわいいよ
みんな大好き 宇～太♪
UTA！UTA！（そう！）宇～太
- 2 宇～太はシャイでのんびりや
けどお仕事 がんばるよ
おいしい！お米！ゆうだい21！
宇大のよさを伝えるよ☆
みんな大好き 宇～太♪
UTA！UTA！（そう！）宇～太
- 3 宇～太の願いがこめられた
しっぽの若葉はおきにいいり
チャレンジ！チェンジ！
コントリビューション！
かがやく未来へレッツゴー☆ミ
みんな大好き 宇～太♪
UTA！UTA！（そう！）宇～太
みんな大好き 宇～太♪
UTA！UTA！（そう！）宇～太

UUMCのメンバーに歌詞に
したいフレーズを聞き、それらを
宇～太のかわいさが伝わるよう組み合わせ、
約1週間で完成しました！

最優秀賞と聞いた時は驚きました
が、実際に曲になるのはとても
嬉しいです(^^)♪

UUMC代表：樋口紗也果さん



UUMCのみんなが考えてくれた『みんな大好き
宇～太♪』は宇都宮大学の平井季枝先生の作曲の
もと、素敵な曲に仕上がりました♪

* 特別賞 *



ちっちゃいおともだちが
楽しくなっちゃうで賞

みんなの宇～太

作者：岩城有圭さん
(教育学部3年)



センス抜群で賞

宇～太のおさんぽ

作者：野澤昌代さん
(教職センター職員)



しっぽの若葉がくるくる
まわるで賞

みんなの応援団宇～太くん

作者：若林智也さん
(教育学部1年)

UUプラザにて、宇～太オフィシャルソンググランプリ特設ブースがあります！入賞した4作品すべての歌詞を見ることが出来ますのでぜひ足を運んでみてください♪

志望動機はみんな、本・アニメ・映画が好きだから！！働くだけで様々な作品に触れられるのは、まさに天職？！

良いこと

- 接客が少ない＝人としゃべらなくていい
- 返却中に読みたい漫画を見つけられる
- 社割で好きなDVDを安く借りられる
- 見出しを見れば社会情勢がある程度分かる



嫌なこと

- × 時給安め
- × ホラーが苦手な返却作業が辛い
- × 深夜は特にマナーの悪い客が多い



伝えたい！
この気持ち！！
(笑)

- ◇ 仕事をしながら作品を物色してしまう
- ◇ ブックカバーをうまくかけられない
- ◇ 立ち読み客がいて作品の返却作業ができない

実は私もレンタルDVDショップで働いたことがあります！確かに仕事をしているだけで様々な作品を知ることができます。漫画作品の実写化などにも敏感になり、おかげで友達との会話の幅が広がりました。本、漫画、映画が好きなのもそうでない人もこのバイトに興味のある人はぜひ挑戦してみては？！

U*You Interview

～ 宇大生に聞いてみた！新学期Q & A ～

春といえば新学期ですね！新しく入学した人も、進級した人も、新学期は気合いを入れたい時期でもあります。今回は「宇大に入学した理由」「学生のうちにやっておいたほうが良いこと」を宇大生に聞いてみました！何をしたらいいかわからなくて不安な新入生も、今年から何かを始めようと考えている在校生にも参考になる答えが待っていますよ！

Q 宇大に入学した理由は？

A. 人がゴミゴミしてるのが苦手で、下り方面の電車に乗りたかったのと電車1本で行ける国立大学が良かった。それに、地域創造みたいな学部を探していたら宇都宮大学を見つけてココに入りました！

ほとんどの場合、通学時間が長くなる実家生にとっての電車事情はかなり重要ですね！通学時の過ごして方も変わってくるはず！



地域デザイン科学部
2年 吉澤潮さん

Q 学生のうちにやった方が良いことは？

A. 様々なことに挑戦することです！例えば、私はサークルの活動で子供たちと自然の中で体を動かしたりしています。のびのびと体を動かして幸せです！様々なことに挑戦することで、それぞれに発見があると思います！

高校生までとは違い、大学生活は何事においても自分が主体となって活動できる貴重な4年間！何事にも積極的に取り組んでみましょう♪



教育学部4年 迫秀人さん



工学部4年 忍田 祥平さん

A. 県外へ出て自立した一人暮らしをしたかったのと、地元である茨城から近かったから。あとは交通アクセスなどが充実していて暮らしやすいのが大きかった。なによりOCの時の授業風景で授業しやすい雰囲気を感じられたからココに入りました！

1人暮らし生としては、暮らしやすさはとても大切！実際に大学の雰囲気を感じることで進路を選択しているところもすばらしいですね！



地域デザイン科学部
2年 森山 優雅さん

A. 航空券が安い長期休み以外の時期に、海外に行って自分の壁を越えられるような体験をするのがいいと思います。それと、学校の授業以外に地域のイベントに参加して地域をもっと知ると、新しい出会いがあると思います！

2か月という長期休みは人生でもなかなかないもの。この機会に色々なところへ行くことで、自分の世界を広げてみよう！

その他にも・・・

栃木県の教員になりたかったから
(教育学部4年)

一人暮らしをしたかった
(地域デザイン科学部2年)

- 国際学部が面白そうだったから (国際学部2年)
- 地元だったから (教育学部4年)
- 知り合いがいなかった場所がよかった (地域デザイン科学部2年)

その他にも・・・

海外に行く前に日本を知ること
(地域デザイン科学部2年)

- やりたいと思うことは絶対にやった方がいい！ (農学部4年)
- バイトをたくさんして社会経験をつむ (国際学部4年)
- サークル活動に積極的に参加して友達のを広げる！ (工学部2年)

インタビューに答えてくれたみなさん、ご協力ありがとうございました！入学した理由や学校生活へのアドバイス、とても参考になるものばかりでしたね。また、「うーたす！」では随時メンバーを募集しているので、興味のある方はこちらまでご連絡ください uu_pras@yahoo.co.jp

NO.1 平子めぐみさん (教育学部 総合人間形成課程3年)



湯ノ花咲かせ隊のメンバーとして活動し、今年度リーダーを務めるなど、地域活性化活動に意欲的に取り組んでいる平子さん。今回取材時は、彼女の活動のエネルギーの原点と、活動に対する思いを伺った。

Q1 活動を始めたきっかけは？

A 1年生のときに湯ノ花咲かせ隊として先輩に誘われて。震災をきっかけに、以前から地域復興に興味がありました。

Q3 活動で悩んだことは？

A 実際にお住まいになられている方と活動をするので、関係のつくり方が難しかったです。活動当初は雰囲気がいびりしたこともありました。今では、仲良く活動させていたいです。

Q2 活動で嬉しかったことは？

A 昨年度行われたバスツアーの前に、1人で湯ノ花に行ってみたくて。そしたら、元区長さんご家族と地域の方が温かく迎えてくれて、人のつながりを感じて、とても感動しました。

Q4 将来について

A 今は興味より広がって様々な地域の活性化に興味があります。ミヤキチー宇都宮を楽しみむみつちーもその一つで、宇都宮の面白い事、楽しいことを友人と集めてはFacebookページにアップしています。

何度も訪れたい湯ノ花を目指して

湯ノ花咲かせ隊

福島県西南に位置する「立岩地区湯ノ花」を支援する、教育学部総合人間形成課程の授業の一つとして行われているプロジェクト。当時の区長が観光に注目し、大学生の力を生かした復興支援事業を行ったことがプロジェクトのはじまり。湯の花咲かせ隊は4年に渡りサポートを続けており、平子さんは1年生のときから参加している。

ミヤキチー宇都宮を楽しみむみつちー

宇都宮のおもしろい人・モノ・ことを発見・発信する活動をするを目的としたプロジェクト。情報発信の場としての秘密基地をつくるために空き家改修プロジェクトも進めていく予定！

その他、とちぎ手仕事プロジェクトFUKUFUKUでのボランティア、栃木市でのコミュニティボランティアなどの活動も行う



一言メッセージ！

“学生ができることはなにか”を考えながら活動しています。湯の花のおじちゃん、おばちゃんにもまれながら一生懸命頑張っています！Facebookいいね！よろしくお願いします！

MEMO

様々な活動をされている平子さんは笑顔が印象的で、熱心に活動お話しして下さいました。みなさんもFBのチェックをぜひ！！

NO.2 加藤誠士さん (農学部農業経済学科2年)



茨城県筑西市の「学生版地域おこし協力隊」に参加し、勉学の傍ら月8日間の地域おこし活動を行っている加藤さん。筑西市唯一の酒蔵「来福」を中心に、茨城の「地酒」を使ったイベントやPRの企画を行っている。(写真 左：加藤さん、右：来福酒造の方)

「地酒」の力でまちおこし！

地域おこし協力隊

過疎地や高齢化の著しい地域で地域協力活動をする人材を受け入れ、地域の活力を維持・強化することを目的とした制度。自治体によって活動スタイルや待遇は異なるが、多くは1年から3年間をその地で生活し、地域協力活動を行う。

加藤さんが参加している筑西市の学生版地域おこし協力隊は休学の必要がなく、給料付き月8回での活動になっている。

Q1 どうして筑西市へ？

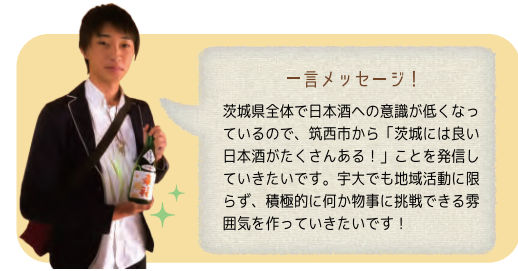
A 元々地域活動を行っていたからです。以前は「どろんごボール」(田んぼで行うバレーボール)や県外の学生との交流会の企画をやっていました。

Q2 どんな活動をしているの？

A 各地で行われるマルシェイベント(地域の野菜などの特産品の販売)や地域振興のフェアでの、地酒を通して筑西市のPR活動を行っています。その他、酒蔵「来福」さんとのタイアップ企画も行っています。

Q3 活動から学んだことは？

A お給料を貰うことで責任感が分かりました。気が引き締まる思いで活動しています。また、市役所など地域とのコミュニケーションを通して、思い通りにいかない現実や企画をともにする喜びも知ることができました。



一言メッセージ！

茨城県全体で日本酒への意識が低くなっているので、筑西市から「茨城には良い日本酒がたくさんある！」ことを発信していきたいです。宇大でも地域活動に限らず、積極的に何か物事に挑戦できる雰囲気を作ってほしいです！

MEMO

加藤さんのように実際にその地に移住するなど、地域活動にも色々な制度とやり方があるんですね！興味のある方は自分に合ったやり方を探して、挑戦してみてください！



(左) 筑西市の風景



(右) 活動の様子

宇大のこの人を 拡大版

地域で活躍する 宇大生！！

地域活動が活発な宇都宮大学。昨年には「地域デザイン科学部」が発足し、地域に根差した活動はますます増えています。今回は地域で活躍する宇大生にお話を伺いました！これから何か活動したい！アクションを起こしたい！そんな宇大生は必見です！

NO.3 大野智成さん (教育学部学校教員養成課程学校教育専攻2年)



高校性の頃から「宮つく」を立ち上げるなど、地域貢献活動に取り組んでいる大野さん。現在は、宮つくOBとして活躍しながら、大学でも新たに活動を始める、幅を広げている。

「今しかできないことをやり尽す」 という心意気をもって

宮つくOB

“宮つく”とは、宇都宮が抱える課題を発見し、まちづくり活動を行う高校生を主体とした団体。大野さんはこの団体を高校生のときに立ち上げた。宇都宮市を盛り上げ、地域活性化に寄与することを目的とし、過去には大野さんが主催となってノンアルコールカクテルを発売したり、ライブを主催したことも。

イベント運営

宇都宮大学地域連携教育研究センターと協力をし、「面白い宇大生を知る」開催の中核メンバーとして活躍。また、大学のみならず、地域に根差したイベントにも運営に関わる。地域づくりに興味のある学生、面白い大学生に注目したイベントを今後は開催したいとの意気込みを語ってくれた。

Q1 活動を始めたきっかけは？

A 高2のときに、「宇都宮ジュニア議会」に参加し、市役所の方と知り合ったことをきっかけに地域おこしの活動をスタートし、「宮つく」を立ち上げました。

Q3 活動で悩んだことは？

A 高校生と社会人の方を取り次ぐことが多いので、様々な面で活動を把握しないといけない点です。資金面の管理は特に気をつけています。

Q2 活動で嬉しかったことは？

A イベントを作りたいという高校生と協力して活動しています。「宮つく」に入ってよかった！という高校生の声を聞いたときはうれしかったですね！

Q4 将来について

A 宮つくは対象の高校生に限られてしまっているため、周知活動を積極的に行いたいです。また、地域づくり、まちづくりに携わっている人にも注目して、みなさんに紹介できたらと思っています。

一言メッセージ！

宮つくでは、大学生サポーター募集中です！興味を持っている人、やりがいを探している人はぜひ！積極的に動いて、今しかできないことを一緒にやり尽しましょう！

MEMO

学生としての立場から、今できることを大切にされている姿勢が印象的でした！これからの大野さんの活躍も目が離せませんね！！

NO.4 竹内勇樹さん (農学部農業経済学科3年)



これまでは農業系サークル「さとびと」で活動していた竹内さん。サークル活動が完結するまで農家との縁がつながり、現在は譲り受けたぶどうの木を管理し、栽培・収穫・販売までを自らの手で行っている。

ぶどうの生産から販売まで 自らの手で

さとびと

栃木県内の農村地域で活動し、学生が農業体験を通じて地域の方々や農村に足を運ぶ都市住民の方との交流を行っている「都市農村交流サークル」。現在の活動地域は、茂木町甲(かぶと)地区と日光市土呂部(どろぶ)地区。

One Point Question

ぶどうの木はどんなもの？

今は5811教室の中程程の大きさで、300房ほど収穫できる。来年は500房収穫できるように栽培していきたい。春にかけては芽欠き(木の伸びる方向を調整する作業)を行う。将来の予測が必要で、経験がモノをいう作業なので農家の方に教えていただきながら行っている。(竹内さんのぶどうの木)

Q1 栽培を始めたきっかけは？

A さとびとの活動であるぶどう農家のハウス再建をお手伝いしたのがきっかけです。「ぶどうの木を一本管理してみないか？」とオファーを頂き、引き受けました。

Q3 活動で悩んだことは？

A 剪定と販売が大変です。剪定(枝を切る)は将来の育ちを考えながら行います。販売は鮮度を考えて朝早く収穫して箱詰めして出荷します。丸一日かかる大変な作業です。

Q2 活動で嬉しかったことは？

A 実が大きく真っ黒なぶどうが収穫できた時はとても嬉しかったです。あと、売り込みのときに「おいしい！」と言ってもらえた時も嬉しかったです。特に印象に残っているのは、お子さんかぶどうの絵を頂いたことです。

Q4 将来について

A 実家もぶどう農家なので、今行っているぶどう栽培の経験を生かして実家のぶどう農園を継ぐつもりです。さとびとのメンバーとは、ぶどう農家さんとの橋渡し役として関わっていったらと思います

一言メッセージ！

収穫したぶどうは、ベトナム近くにある「やさい&くだもの村」で販売されています。ぜひさんにも食べていただきたいです。農作業はとてもやりがいのあるものなので、皆さんにもぜひ関わってほしいです！

MEMO

ぶどうに真摯に向き合う情熱が伝わってきました！皆さんもぜひ竹内さんのぶどうを味わってみては？



柔道部

一対一で戦う緊張感が柔道の醍醐味。そこには厳しさもあるが、自分の力を信じて戦うことにやりがいを感じるという。今回は、そんな柔道部のみなさんにお話を聞いてきました！

柔道部の活動内容

年5回ある試合に向けて筋トレや技の練習をしています。また、動画や本などで技の研究もしています。柔道の技は多彩で、人によってアレンジが加えられることもあります。

昨年12月に行われた第64回北関東柔道五大学柔道親善大会では、3位に入賞することができました。今では思い出すことができないほど必死で戦いました！カタチある結果を残すことができるととても嬉しいです。



斎藤大資さんにインタビュー

Q. 柔道部ならではの楽しみは？

A. 交換留學生が一時的に入部してくれることですね。今までに、チェコやドイツの方が入部してくれました。留學生の帰国後も、私たちの方から現地に会いに行き、交流を深めています。柔道を通して国際的な繋がりが生まれるのでとても楽しいです！



家族のような部員と
取り組む部活はとても
充実感があります！

Q. 斎藤さんにとって柔道部とは？

A. 僕にとって柔道場は、落ち着ける場所、家族のような部員が集まる場所です！ほどよい緊張感を持って、メリハリのある練習をしているので充実感があります。温かな雰囲気と柔道の力強さを感じてみたい方、初心者・経験者ともに大募集です！

サークル情報

活動日 : 月・水・木 16:00-18:30 / 土 9:30-12:00

活動場所 : 武道館2階の柔道場

ブログ : <http://udijudobud diary.blog.jp>

Twitter : @udai_judo

部長 斎藤大資さん
(農学部森林科学科3年)

漢字
一文字

今年の抱負

2017年が始まりましたね！今回はメンバーのみなさんに今年の目標を立ててもらいました！

食

働いて稼いで貯めて、贅沢なものを爆食したいです

総合4年：小林直貴

戒

社会人になる今年、自分を見失わないようにしたい

電電4年：佐々木滉太

論

説明下手なので、社会人にもなる今年は理論的に話すのが目標です

農経4年：布袋田早紀

慣

毎日継続してできることを増やせる年にしたいです！

建築4年：松山大介

己

大学生活最後の年！何事にも自分らしく取り組んでいきたい*

総合3年：岩田奈緒子
担当：宇～太特集

素

自分の長所短所を自分の素としてきちんと受け入れていきたい

建設3年：須田愛実
担当：表紙

豊

爽り豊かな1年にしたい。やること全てに目標を持ち、頑張ります

国文3年 蕪澤琴音
担当：エッセイ

走

今年は就活など忙しい年なので、気力保って走り抜きたい！

総合3年 船田晃代
担当：サークル紹介

勢

大学4年になる今年自分らしく、1日1日を全力で駆け抜ける！

教音3年：大島有美子
担当：サークル紹介

挑

就活はもちろん、残りの学生生活で様々なことに挑戦していきたい

農経3年：後野仁奈
担当：学生インタビュー

感

今あることに感謝をしながら、色々なことを感じる1年にしたい！

総合3年 小林未来
担当：学生インタビュー
編集後記

伝

うーたす！が、より皆さんに届くようにとにかく頑張る年！

総合2年 大嶋美晴
担当：アルバイト紹介

深

一つのこと集中して「深」めていきたいです

建築1年：速水秀太
担当：学生インタビュー
全体装丁

持

物事を黙々と続けられる持久力と、多くの知識を持ち合わせたい

建築1年：赤川秀之
担当：U*YouInterview
全体装丁



みなさん編集お疲れさまでした！メンバーみなさんの今年の抱負は個性的で、なかなか面かったですね！一人ひとりにとって良い1年となりますように！